

退任あいさつ



前笠間市副市長
近藤 慶一
こんどう けいいち

私は平成30年から2期8年間にわたり、副市長の職を務めさせていただきました。

この間、笠間市の発展と、市民の皆さんの健やかな暮らしを支えていくための方策を自分なりに考え、微力ながら市行政の一端を担わせていただきました。

大過なく職務を全うできましたのは、山口市長をはじめ、議員各位、市民の皆さんのひとかたならぬご指導、ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

現在、笠間市をはじめ全国各地では、人口減少、少子高齢化が地域社会のあらゆる場面において深刻な影響を与えております。この未曾有の大きな壁を乗り越えることは、容易なことではないと思います。

しかしながら、山口市長の卓越したリーダーシップのもと、市役所、議会、各種団体、そして市民の皆さんが一体となって、まちづくりに関わることで、より良い解決策が見つかるはずだと思います。

最後になりますが、笠間市が子どもから、お年寄りまで誰ひとり取り残さず、安心して健やかに暮らせるまちであることをご祈念申し上げます、退任のご挨拶とさせていただきます。

本当にありがとうございました。

新副市長紹介



新笠間市副市長
北野 高史
きたの たけし

6月の定例議会において同意を得て、北野 高史さんが副市長に任命されました。

北野副市長は昭和46年生まれ54歳。平成8年に笠間市役所（旧友部町役場）に入庁し、法制、選挙、行政区、市町村合併、企画、地方創生などの担当を経て、市長公室 政策推進監、政策企画部長、市長公室長を務め、本年6月に笠間市役所を退職されました。

就任あいさつ

この度、市役所を退職し、新たに副市長に就任いたしました。改めて力を尽くす機会をいただき大変光栄に思うと同時に、その重責に身の引き締まる思いです。

笠間市は、自然、歴史、文化が息づく素晴らしいまちですが、その真の魅力と活力の源は、お住まいの皆様、学び働く皆様、応援してくださる皆様にほかなりません。これは、これまでの職務を通じて肌で感じてきた確信です。

地方を取り巻く環境は厳しく課題も山積していますが、大切なふるさと笠間をしっかりと未来につなぐため、山口市長が掲げる変化をおそれない「進化」の実行者として、全身全霊で取り組んでまいります。どうぞ皆様の温かいご指導とご協力を心よりお願い申し上げます。